

「家庭学習MGC」実践例

志布志市
教育委員会

潤ヶ野小学校 5・6年



○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 自分に合った家庭学習計画を立てましょう。

★ 学校から出された課題をもとに、家庭学習の計画を立てましょう。

★ タブレットを使用する時は、「持ち帰りルール」を守って、「安全・安心・快適」に使用しましょう。

★ 補充学習に、学習支援アプリや学習者用デジタルコンテンツを活用しましょう。

★ 計画を立てて、取り組んだことは、家族や先生に見てもらいましょう。

潤ヶ野っ子 家庭学習の手引き (高学年)

志布志市立潤ヶ野小学校

- ★ 1日70分～80分勉強しましょう。
- ★ 様々なジャンルの本を読みましょう。
(親子読書の日は30分～60分本を読み、20分で親子読書カードに書くようにしましょう。)
- ★ 自主学習を自ら進んで行いましょう。
- ★ 時間は目安です。その日の学習内容によって変わります。

1 宿題をする。

- (1) 教科書を読む。
- (2) 日記を書く。
- (ア) 出来事の様子や自分の思い、考えを分かりやすく書く。
- (イ) 書き終わったら読み返して、間違えた字を書き直す。
- (3) 復習プリントをする。
- (4) 漢字練習 (とめ・はね・はらいに気を付けて丁寧に。)
- (5) ドリル (答え合わせを自分でして、間違えた所のやり直しをする。)

2 予習・復習をする。(マイゴールチャレンジタイム)

- ～自宅ノートにしましょう～
- (1) テストやプリントを整理して、間違えたところを中心にやり直しする。
 - (2) 教科書やドリル、問題集の中から見付けてやってみる。(以下は一例です。)
 - ①国語・・・言葉についてまとめたり語句調べ(辞書の活用)や漢字練習をしたりする。
 - ②算数・・・問題の解き方のポイントや公式、用語などをわかりやすくまとめる。計算練習をする。
 - ③社会・・・学習したことをイラストや表を入れてまとめたり、新聞を読んで感じたことや思ったことをまとめたりする。
 - ④理科・・・実験や観察のまとめや分かったことを図や表を入れてまとめる。
 - ⑤家庭・・・実習について事前調べや学習後のまとめをする。
 - ⑥保健・・・運動の仕方や保健の学習で学んだことを絵や図を入れてまとめる。

3 いろいろな本を読む。

- 学校や図書館から借りた本、家にある本を読む。
- ～ 目的に沿った本を読みましょう。～

宿題が終わったら

1 保護者に宿題チェック票と一っしょに見せる。

2 明日の学習をする。

○ MGCの取組

【小学5年生 社会のMGC】

米作りをする人々の思いについて理解を深めるために、米を作る家族へのインタビューに取り組んだ家庭学習

★家庭学習の過程

- (1) 学校から出された課題に取り組む(音読、日記、プリント等)
- (2) マイゴールチャレンジに取り組む
 - ① あらかじめ考えていたインタビュー内容について、家族にインタビューを行う。
 - ② インタビューを行った後、さらに聴いてみたいことを質問する。
 - ③ 学習支援アプリを活用し、米作りについての知識を深める。
- (3) 学習した内容を、家族に知らせる。
- (4) 関連する本や教科書、資料を読んだり、インターネットで調べたりする。

★学校の関わり

- (1) 授業で学んだ米作りについて、疑問に思っていること、米を作っている方にさらに聞いてみたいことを考えさせる。
- (2) 学習支援アプリの該当チャプターを紹介し、必要に応じて、補充問題や動画解説を視聴するように指導する。

★保護者(祖父母を含む)の関わり

- (1) 児童からインタビューを受ける。
- (2) 見届けをする。(誉める、励ます、自信をもたせる)

★実践の様子(児童と保護者のやりとり)

児童：何時ぐらいに田んぼに行っていますか。

保護者：5時から5時半。田植えから稲刈りまでの期間は毎日行っている。

児童：米を作るのを嫌だと思ったことはありませんか。

保護者：田んぼがある家に産まれた運命だと思って頑張っている。自分の親もそうやって米を作ってくれた。

★成果

- 普段以上に、家庭学習に主体的に向かう姿が見られた。
- マイゴールチャレンジに取り組んだ内容は、授業での主体性も高まった。
- 保護者に関わってもらうことができ、自信がついた。

★課題

- △ 保護者の関わりについて、加重負担にならないように程度を見極める必要がある。



「家庭学習MGC」実践例

大崎町
教育委員会

大崎中学校 1年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 「授業」と「宿題」を区別する概念を取り払い、学校（授業）で行う学習と家庭学習を連続した一体のものとして捉える。【学習への考え方】
- ★ 授業時には、用意した課題の内容や趣旨などを十分に説明し、基礎的な内容から発展的な内容までの取組を、各生徒が「いつやるのか」「いつまでに終えて提出するのか」「この課題は自分に必要なのか」などを自ら考えて取り組むことができるようにする。そのため、授業時以外に取り組む課題を「宿題」とは呼ばない。【課題の難易度・量・回数、期限の柔軟性】
- ★ 原則としてタブレットを用いる学習課題を用意し、課題の配布や提出、添削や返却などを一元的に行う。また、授業から家庭学習まで一体として捉えた学習の状況や成果を、可視化して生徒に還元し、さらに意欲が高まるようにする。【教師の業務効率化・生徒のさらなる意欲づけ】

授業時に配布するカード（学習支援アプリ）例

必要なものをひとつのカードにまとめて提供

①教科書の確認
教科書本文を読めば解答可能な重要語句、重要文を確認する課題。

④動画の視聴
自分の進捗状況やタイミングで、繰り返し視聴可能。

教科書（歴史）p.50～51
天平文化
奈良時代の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。

授業プリント
採点後提出！

共有課題①
共有課題②

ジャンプ課題①
ジャンプ課題②
ジャンプ課題③

※このカードの元の状態を崩さないように保存すること
※見直しを持ち、家庭学習とつなげて学びを積み立てる

⑤ワーク（発展）
ワークの該当箇所を解く。

②図版、資料の確認
教科書中の資料と付随する解説などの確認を行う。

③ワーク（基本）
ワークの該当箇所を解く。

⑥復習
進捗の早い生徒や意欲のある生徒が取り組むことができる課題を用意。この時は前時までの復習内容を用意。

○ MGCの取組

【中学1年 社会科のMGC】

学びを連続させるために学校の学習も家庭学習も、自分の力で、自分のペースで取り組む学習

★ポイント（左の授業時のカード例と対応させてある。）

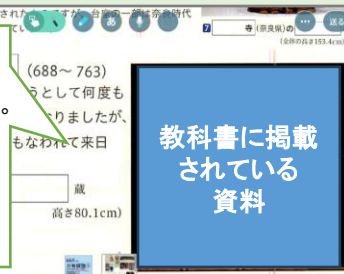
①教科書を理解

教科書本文をほぼそのまま引用した問題文。これを解くために生徒は自然と教科書を精読することが習慣化し、「教科書を傍に置いて自分で学習することができる」力につなげる。説明する力を伸ばすための文章抜粋も取り入れている。

8	このころは、天皇や貴族、()の力によって、	8	
【p.50～51 奈良時代の仏教】			
9	(9 天皇)と(10 皇后)は、唐の皇帝にならって、仏教の力により、伝染病や災害などの不安から国家を守ろうと考えました。	9	天皇
11	聖武天皇と光明皇后は、唐の皇帝にならって、()と考えました。	10	皇后
11			と考えました。

②図版、資料

教科書に配置されている資料の、着目してほしい部分を空欄にした課題。何気なく眺めるのではなく、意識をもって資料に接する態度を養い、自学可能な力を養う。この資料では「鑑真」と「唐招提寺」を空欄とした。※教科書中の図版



③・⑤・⑥共有課題・ジャンプ課題

画像は、9月30日(火)の授業で与えたジャンプ課題④の提出箱の表示。この課題の締め切りは10月4日(土)の21:00とした。ノー部活デーの活用、土日のスケジュールや他の課題との兼ね合いも考えて、「いつ済ませるかを自分で考え、計画して取り組もう」と説明し、声かけしている。

2025年10月4日(土) 締切

09/30 ジャンプ②

22

③・⑤・⑥共有課題・ジャンプ課題

画像は、9月26日の授業で与えたジャンプ課題の提出状況の表示。この課題の締切は9月28日(日)の21:00であった。この生徒は、表示の通り締切日の21:23に提出している。時間の制約や疲労などがある中で自らを律し、この時間に課題と向き合っていたことも把握できる。もちろん、締切日以前に提出した生徒も多く、中には授業中に済ませることができた生徒もいた。各自が自分のペースで課題に取り組んでいることが分かる。

④資料（動画）

教科書中に二次元コードで用意されている動画をダウンロードして学習支援アプリで提供。いつ見るか、何回見るかを生徒自身の判断にゆだねる形にしている。



9月28日(日) 21:23

「家庭学習MGC」実践例

東串良町
教育委員会

東串良中学校 1年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 自主的・主体的に学ぶ姿勢を育てる。
 - 苦手教科や不得意分野など、自分でテーマや課題を決めて自主的・主体的に学習する。
- ★ 日々の学習の積み重ねを大切にすることで、学習習慣を身に付ける。
 - 毎日の継続的な取組が、学力の定着につながる。
- ★ 振り返りや自己評価を取り入れる。
 - その日の学習内容や理解度を自分で確認し、次につなげる。
- ★ 1年生90分、2年生120分、3年生150分の家庭学習を奨励。
 - 時間は目安（中学校で理解を深めるために必要な時間）であり、学習の内容や質にこだわる。

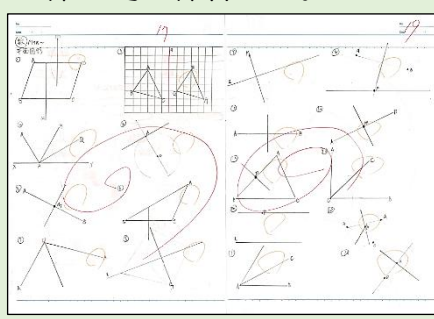
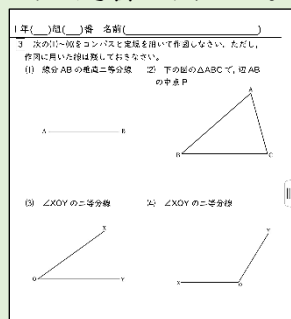
学習者主体の授業（数学科）と関連した家庭学習（自学ノート）

題 材：平面図形

内 容：角の二等分線、垂線、線分の垂直二等分線の作図
めあて：基本的な作図の方法を理解し、活用できるようになる。

★ 家庭学習用プリントを作成・配布し、基本的な作図方法の定着を図った。

★ 家庭学習（自学ノート）で基本的な作図ができるように繰り返し練習した。



○ MGCの取組

【中学1年 数学科のMGC】

基本的な計算力を高めるために、自学ノートに取り組んだ家庭学習

★ポイント

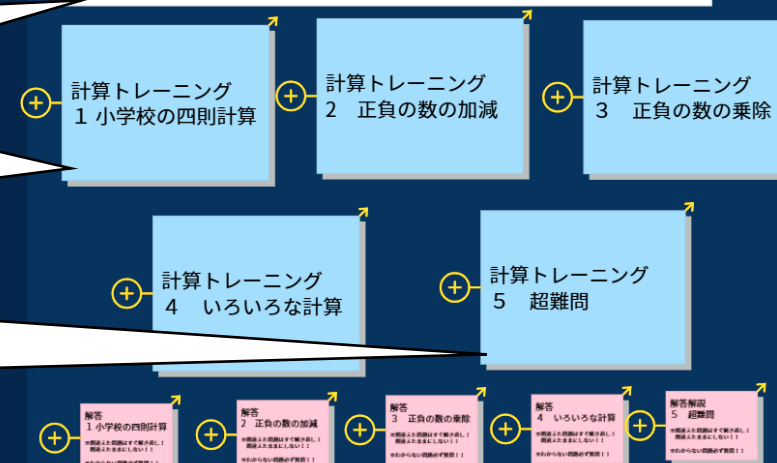
本校では全学年で自学ノートに取り組んでいる。1年生でも中学校生活に慣れてきた5月からスタートし、1週間に5ページ取り組むこととしている。特に教科の指定は行わず、自分の苦手な教科や単元、当日習った学習内容などを積極的に進めている。

チェックは担任だけでなく、学年部の職員6名で担当を決めて確認をしている。毎週金曜日には、学年主任がチェックし、うまく進められていない生徒への支援を行っている。

その中で、生徒が「何に取り組んでいいかわからない」という生徒の声から、数学科では、学習支援アプリを活用して、計算問題を配信している。

1学期は合計で大問1～44まで準備した。

計算力を伸ばそう！継続は力なり



小学校で習った計算問題もあり、苦手な生徒にも取り組みやすかった。

「超難問」と題して、難関私立高校の入試問題などを提示し、学習意欲を高める工夫をした。

生徒は、MGCの活動により、計算問題に積極的に取り組む姿が見られるようになった。学校に登校したらすぐにタブレットを起動させ、計算問題に取り組み、自学ノートを決められたページ以上に進める生徒が増加した。

5月に行った計算問題中心の単元テストでは、平均点が90点を超えるなど、確実に計算力を高めている。

「家庭学習MGC」実践例

錦江町
教育委員会

大根占小学校 6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

家庭学習のねらい ⇒ 「基礎学力の定着」と「自ら学ぶ習慣づくり」

家庭へのお願い ⇒ 「意欲」と「集中力」を高める環境づくり

★ 学習への意欲をもたせるために

- ・ 学習を始める時間になったらテレビのスイッチを切る。
- ・ すぐに取りかかれる易しい学習から始める。
- ・ できることからはじめ、途中でつまずいたり分からなかったりしたら、問題は次の日学校で質問できるようにする。

★ 学習に集中させるには

- ・ おやつは学習が終わってからにする（ながら学習はさせない）。
- ・ 机の周りには、学習に必要なでない物を置かない。
- ・ 時計を利用する。「正しく」「早く」「丁寧に」をめあてにする。
- ・ 「始まり」の時刻を守らせる。

年度初めに子供に説明する手引（R7年4月）

錦江町立大根占小学校

家庭学習の手引き（高学年）

- 【学習時間のめやす】
- ☆ 5年生・・・70分 6年生・・・80分
 - ※ 中学校では、最低2時間の家庭での学習時間が必要になります。徐々に時間を増やしていきます。

- 【ポイント】
- 1 学習しやすい環境をつくりましょう。
 - テレビを見ながらしない。
 - 学習用具の整理整頓に心がける。
 - 規則正しい生活をしましょう。
 - 早寝・早起きをする。
 - 前日に学習用具や学習用紙をそろえる。
 - 学習のはじめとおわりのじくを話し合ってください。
 - 2 規則正しい生活をしましょう。
 - よい姿勢でする。
 - 就寝時間の目安（時 分）
 - 朝食は必ず食べる。
 - テレビを見る時間を決める。
 - 3 学習の習慣を身につけよう。
 - 学習の習慣を身につけよう。
 - 学習の習慣を身につけよう。
- ※ 同じ時間帯に学習する習慣をつけましょう。 ※ 休日は午前中に学習する習慣をつけましょう。

家庭では励ましと称賛を

- ☆ 子どものがんばりを認め、励ますことが子どものやる気につながります。ぜひ、見届けをしてください。



「よくがんばったね！」
「一生懸命頑張ったね。」
「今日は字が丁寧だね。」など

○ MGCの取組

【小学6年 算数科のMGC】

確実な理解にとするために、「めあて」を立てて取り組んだ家庭学習

★ポイント

その日の宅習における「めあて」（MG）を設定し目的意識をもって家庭学習に取り組んでいる。

○ 単元テストで間違えた問題を家庭学習で復習し、確実に理解しようとしている児童の例

宅 習

めあて
5年生と組む合戦のテストの復習をしよう。

① 大くやさん、みずきさん、しんさんの3人でリレーをします。3人の走る順番について考えましょう。

(1) 3人の走る順番を調べるために、右のよう表を作りまし。あいているところにも前を書いて、表を完成させましょう。

(2) しんさんが1番目に走るときは、はらびは全部で何通り（2通り）

(3) 走る順番は全部で何通り（6通り）

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ のカードが1枚ずつあり、この4枚のカードから3枚を選び、3けたの整数を作ります。

〈9の位〉 〈十の位〉 〈一の位〉

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

① 3けたの整数を作ります。3けたの整数は何通り（24通り）

まとめ
5年生と組む合戦のテストの復習をしよう。

宅習の「めあて」(マイゴール)を設定することで、目的意識をもって取り組むことができる。

単元テストで間違えた問題に再チャレンジすることで、なぜ間違えてしまったのかを再確認するとともに、確実に定着できるようにする。

図や表もしっかり描くことで確実な定着につながっている。

「まとめ」で、マイゴールを達成できたかを振り返ることで自己分析ができている。

「家庭学習MGC」実践例

南大隅町教育委員会

神山小学校 5年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 各学年の平均的な学習時間の設定
【1年30分 2年40分 3年50分
4年60分 5年70分 6年90分】
- ★ 学校で、音読カードを作成する。学習後に保護者の見届け及びサインをもらい、毎日提出する。
- ★ 今日、学習したことの復習を基本的に行う。

かていがくしゅうの手引き(1年生用) 南大隅町立神山小学校



がくしゅうじかんの めやす(どのくらい) がくしゅう するか

★ 1年生・・・30分

※ 各学年のうちに、少なくとも決められた時間はすわておくようにしよう。

がくしゅうじかんの はじめと おわりの じこく

★ 親子で話し合って、学校から帰ったら夕食までにすませるようにしよう。

※ 休みの日は午前中にすませよう。

○ がくしゅうのはじめ 時 分 ～ がくしゅうのおわり 時 分

※ しずかな場所で集中して学習しよう。

がくしゅうの メニュー

★せんせいが だす しゅくだい

○ にっき・・・今日のできごとをその日のうちに書きましよう。

○ おんどく・・・このころのきょうかしを声に出してよみましよう。

おんどくカードをつかましよう。

○ ひらがな・カタカナの漢字の書き

・・・ひらがなやカタカナの漢字をノートにれんしゅうましよう。

書き順に気をつけて、ていねいに書きましよう。

○ ドリルプリント

・・・先生から出された国語や算数のプリント、ドリルの問題にとりくみましよう。

★こんな がくしゅうも してみよう

★ 先生からの宿題がないときや、前日にゆとりがあったとき、ふしぎに思ったことがあったときなど、①～②の中からとりくむことを決めてがくしゅうましよう。

① まとめてがんばりコース(おうちの人と話し合って決めたがくしゅう)

前日にあった自分もっている問題集などにとりくみましよう。

② 読書コース

学校の図書室や町の図書館でかりた本を読みましよう。

※ 保護者の方へ・・・読み聞かせから始めると、自然に本に手が伸びるようになっていきます。

家族みんなで、休日に読書タイムを設けてあげてはいかがでしょうか。

保護者の方へ・・・子どもの読書を認め、助ますことが子どものやる気につながります。ぜひ、見届けをしてください。

家庭学習の手引き(高学年用) 南大隅町立神山小学校



学習時間のめやす(どのくらい学習するか)

★ 5年・・・70分 6年・・・80分

学習の開始・終了の時刻

※ 毎日、同じ時間帯に学習する習慣を身につけることが大事です。

※ 平日は夕食前、休みの日は午前中に済ませましよう。学習の始めと終わりの時刻について、親子で話し合いましよう。

	学習の始め	学習の終わり
平日	時 分	時 分
休みの日	時 分	時 分

※ 静かな場所で集中して学習ましよう。

※ テレビを見ながら、音楽を聞きながらの勉強はやめましよう。

学習のメニュー

★先生が出す宿題

○ 日 記・・・毎日の出来事を日記に書くことで、表現力の向上をねらいます。授業で習った漢字を使って書くようにしましよう。

○ 音 読・・・国語で現在学習している単元の音読に取り組みましよう。毎日取り組むと、読みの力のみならず、総合的な学力が身につきます。

○ 漢 字・・・漢字ドリルを使って、ノートに漢字練習をしましよう。

書き順や止め、はね、さらに気をつけて、ていねいに書きましよう。

○ 計 算・・・計算ドリルを使って、宿題・ノート等に計算練習をしましよう。

○ プリント・・・先生から出された各教科のプリントに取り組みましよう。分らなかった問題は、次の日、先生や友達に質問して、必ず分かるできるようにしましよう。

★こんな学習もしてみよう

★ 先生からの宿題がないときや、前日にゆとりがあったとき、自分なりに各教科の学習に取り組んでみましよう。

【国語】 読 書・・・一日の中に、好きな本をじっくり読む時間を設定してみましよう。

意味調べ・・・教科書の中の難しい言葉を辞書で調べましよう。

【社会】 教科書の大切な語句を覚えましよう。分からない語句は調べましよう。

その日に学習した内容を振り返りながら、教科書をまもてみましよう。

学習したことを、教科書などによく調べてみましよう。

【算数】 学習したことを振り返りながら、教科書の問題を復習ましよう。

ドリルや問題集などの問題を、たくさん解いてみましよう。

【理科】 学習したことを振り返りながらノートにまもてみましよう。

簡単な実験や観察に取り組んでみましよう。

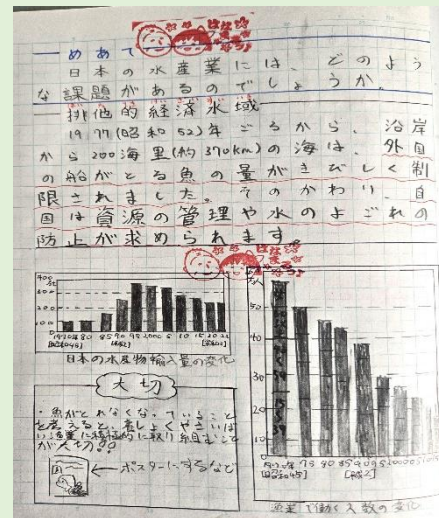
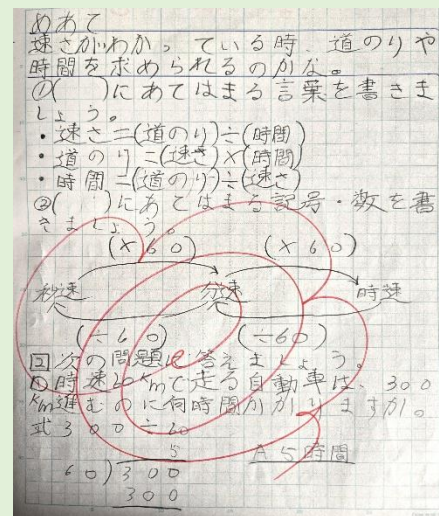
※保護者の方へ・・・高学年でも、読み聞かせは大切です。親子読書にも取り組んでみてください。

保護者の方へ・・・子どもの読進りを認め、助ますことが子どものやる気につながります。ぜひ、見届けをしてください。

○ MGCの取組

【小学5年生のMGC】

今日学習した内容を思い出し、定着を図るために、アクティブリコール(思い出す活動)学習に取り組む家庭学習



○ 宿題(学校から指示された課題)をやり遂げたり、漢字練習や音読、計算練習を継続的に取り組んだりする。

○ 授業で分からなかった問題を解いて、今日学習した事を思い出す活動をする。

○ 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自主学習ノート」にまとめる。

○ 家庭学習に余裕があれば、次の授業で学習する内容を予習してみる。

○ 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。

- ・ 国語の時間に学習した教科書教材とテーマが同じ本を読んでみる。

- ・ 体育の時間に学習した運動を取り入れた体力づくりを家庭で実践してみる。

○ 授業の内容や日常生活で気になることや興味のあることについて、図書館や博物館などを活用しながら、探究してみる。

「家庭学習MGC」実践例

肝付町
教育委員会

岸良学園 後期課程

○ 家庭学習の基本的な考え方

- 1 セルフマネジメントとして週単位等で家庭学習の計画を立てる。(主体的思考)
【学習者主体の授業との関連：子供が自ら問いを発見する】
- 2 AIドリルを中心とした家庭学習に取り組む。(ICTの活用)
【学習者主体の授業との関連：子供が解決の方法を見通す】
- 3 新たな問いを探究し、進路や生き方につなげる振り返りを行う。(自己実現)
【学習者主体の授業との関連：子供が自らの学びを振り返り、次に生かす。】

- 1 セルフマネジメント⇒「自己成長を促す教育
用手帳(スケジュール帳)」の導入
(1) 毎日の計画・持ち物・提出物を自己管理し
自己調整力を育成する。
(2) 週毎に勉強・部活等の計画や目標、具体策
を記入する。
(3) 週末の振り返りを翌週への目標設定につな
げることで、Plan-Do-Check-Actionが行いやす
い。



2 AIドリルの活用

- (1) 学習eポータル+AI型教材は、児童・生徒
一人一人の習熟度に合わせて最適な問題を出
題するアダプティブラーニング教材である。
- (2) 授業の学びを個別最適に理解・定着でき、
授業の進度に応じた予習復習に活用できる。
- (3) 授業・家庭学習において一貫した学習が
可能になる。



○ MGCの取組

【岸良学園後期課程9年生のMGC】

「自分で学ぶ力」を身に付けるために、スケジュール帳とAIドリルを活用した家庭学習

- 1 「自己成長を促す教育用手帳(スケジュール帳)」を活用する中で、自ら学習や部活動等の目標を設定したり、年・月・週単位の計画を立てたりしながら主体的に考え行動する。
自分の気持ちや行動をコントロールさせることで、自己調整能力の向上をねらいとする。

目標設定

今年の展望を広げてみよう	
目標を立てよう	やることを考えよう
勉強・成績 苦手な科目を克服する。	勉強をコツコツやる。
部活 総体で1勝	毎日の練習を一生懸命頑張る。戦略を考える。

スケジュールリング



2 「AIドリル」を活用した「マイゴールチャレンジ」

- (1) 今日の授業で学習したことを復習し、自分の学習や取組を振り返りながら、AIドリルの設定(内容設定や時間設定等)をすることができる。
- (2) 学習内容の定着が自分で即座に分かるため、学習内容等をもう一度整理したり、練習問題や発展問題に自らの意志で取り組んだりすることができる。
- (3) 学習が終わったら、その日の取組の内容や方法を即座に振り返ったり、家族や先生、友達と共有・相談したりして、翌日の授業や家庭学習につなげる。

